

平成28年度(第71回)文化庁芸術祭賞受賞一覧(参加公演)

演劇部門4件

区 分	受賞者(団体)名	受賞対象
大 賞	(関東参加公演の部) 梅若 万三郎	橘香会 能「朝長」における演技
	(関西参加公演の部) 該当なし	—
優秀賞	(関東参加公演の部) 松竹株式会社	芸術祭十月大歌舞伎「熊谷陣屋」の舞台成果
	(関西参加公演の部) 庭劇団ペニノ	地獄谷温泉無明ノ宿の成果
新人賞	(関東参加公演の部) 該当なし	—
	(関西参加公演の部) 木ノ下 裕一	木ノ下歌舞伎「勸進帳」の成果

音楽部門6件

区 分	受賞者(団体)名	受賞対象
大 賞	(関東参加公演の部) 柴田南雄生誕100年・没後20年記念演奏会実行委員会	柴田南雄生誕100年・没後20年記念演奏会の成果
	(関西参加公演の部) 該当なし	—
優秀賞	(関東参加公演の部) 杵屋 裕光	第二回長唄裕光の会の成果
	(関西参加公演の部) 阪口 タ山	第14回阪口タ山 尺八リサイタル～諸井誠を奏する～の成果
	(関西参加公演の部) 林 裕	林裕チェロリサイタル チェリスト=コンポーザー・コレクションの成果
新人賞	(関東参加公演の部) 日吉 章吾	第一回日吉章吾等曲演奏会の成果
	(関西参加公演の部) 松原 友	松原友テノールリサイタルの成果

舞踊部門6件

区 分	受賞者(団体)名	受賞対象
大 賞	(関東参加公演の部) 該当なし	—
	(関西参加公演の部) 該当なし	—
優秀賞	(関東参加公演の部) 後藤 早知子	スライス・オブ・ライフの成果
	(関東参加公演の部) 花柳 園喜輔	拓の会別会「園喜輔創る躍る 変化舞踊の魅力」の成果
	(関西参加公演の部) 地主薫パレエ団	2016年 地主薫パレエ団公演「人魚姫」 プロローグ付き 全3幕の成果
	(関西参加公演の部) 若柳 吟采	若柳吟采リサイタルの成果
新人賞	(関東参加公演の部) 大沼 由紀	Esportánea IV ～フラメンコ、自然発生的な～の成果
	(関西参加公演の部) きたまり	きたまり・KIKIKIKIKIKI 新作公演「夜の歌」Aプログラムの成果

大衆芸能部門6件

区 分	受賞者(団体)名	受賞対象
大 賞	(関東参加公演の部) 該当なし	—
	(関西参加公演の部) 桂 文之助	桂文之助独演会の成果
優秀賞	(関東参加公演の部) 熊澤 南水	南水ひとり語りの成果
	(関東参加公演の部) 古今亭 菊之丞	鈴木余一会 第十五回 古今亭菊之丞 独演会の成果
	(関西参加公演の部) ラッキー幸治	ラッキー幸治芸歴七十周年記念公演豊来家一門会の成果
新人賞	(関東参加公演の部) 柳家 東三楼	柳家東三楼の会 秋の成果
	(関西参加公演の部) 笑福亭 鉄瓶	第七回笑福亭鉄瓶らくご会の成果

平成28年度(第71回)文化庁芸術祭賞受賞一覧(参加作品)

テレビ・ドラマ部門4件

区 分	受賞者(団体)名	受賞対象
大 賞	日本放送協会、AXON	プレミアムドラマ「奇跡の人」
優秀賞	株式会社テレビ朝日	山田太一ドラマスペシャル 五年目のひとり
	日本放送協会大阪放送局	木曜時代劇「ちかえもん」
	株式会社WOWOW	ドラマW この街の命に

テレビ・ドキュメンタリー部門4件

区 分	受賞者(団体)名	受賞対象
大 賞	東海テレビ放送株式会社	人生フルーツ ある建築家と雑木林のものがたり
優秀賞	山陽放送株式会社	島の命を見つめて ～豊島の看護師・うたさん～
	日本放送協会大阪放送局	NHKスペシャル ある文民警察官の死～カンボジアPKO 23年目の告白～
	日本放送協会	NHKスペシャル 被曝の森～原発事故5年目の記録～

ラジオ部門4件

区 分	受賞者(団体)名	受賞対象
大 賞	(ドキュメンタリーの部) 日本放送協会広島放送局	広島原爆の日ラジオ特集「あの日、母は少女だった～被爆の記憶をたどる母と息子の対話～」
優秀賞	(ドラマの部) 日本放送協会大阪放送局	FMシアター「ふたりの娘」
	(ドラマの部) 日本放送協会名古屋放送局	FMシアター「ほかの誰でもないアヤコ」
	(ドキュメンタリーの部) 株式会社エフエム東京	『ミュージックドキュメント 井上陽水×ロバート キャンベル「言の葉の海に漕ぎ出して」』

レコード部門3件

区 分	受賞者(団体)名	受賞対象
大 賞	花もよ編集室	武智鉄二「古典は消えて行く、されど・・・」
優秀賞	株式会社キングインターナショナル	N響世界一周演奏旅行1960
	株式会社フォンテック	甲斐説宗の音楽

平成28年度(第71回)文化庁芸術祭賞受賞一覧(参加公演)

演劇部門4件

区分	受賞者(団体)名	受賞対象	受賞理由
大賞	(関東参加公演の部) うめわか まんざぶろう 梅若 万三郎	きっこうかい ともなが 橘香会 能「朝長」における演技	型が極度に抑制された難曲「朝長」を演ずるには厳格な身体運用が欠かせない。前場で夕景を見やる視線に寸毫のブレもなく、腰から背筋へ徹る体幹に支えられて面が生動する壮観、難しい後場の馬上の型でも激さずに静謐を保った。一曲の眼目「語り」の至芸で孤独な若武者の内面を見事に表現した梅若万三郎の名演技は、今期芸術祭参加公演中の圧巻であった。
	(関西参加公演の部) 該当なし	—	—
優秀賞	(関東参加公演の部) 松竹株式会社	くまがいじんや 芸術祭十月大歌舞伎「熊谷陣屋」の舞台成果	八代目芝翫襲名にあたり、現在では新芝翫以外に演じ手のいない、四代目芝翫型による「熊谷陣屋」を上演し、緊密な舞台を見せた。芝翫は五回目の挑戦となる熊谷直実の心情を舞台ぶり大きく丁寧に描写し、吉右衛門の義経を始めとし、魁春、歌六、菊之助ら周囲も優れた演技で芝翫を支えた。
	(関西参加公演の部) にわけきだん 庭劇団ペニノ	じごくだにおんせんむみょうのやど 地獄谷温泉無明ノ宿の成果	これまで強烈な妄想世界を創ってきたタニノクロウが、北陸のひなびた温泉宿に一夜の墨絵を描いた。だがこの静かな舞台にもただならぬ気配が漂い、心の闇が間欠泉のように噴出を繰り返し、やがて朝を迎える。辻孝彦(劇団唐組)の押さえに押さえた演技、スーパーリアリズムと幻想が同居する稲田美智子の精緻な美術が、作者の「成熟」をしっかりと支えた。
新人賞	(関東参加公演の部) 該当なし	—	—
	(関西参加公演の部) きのした ゆういち 木ノ下 裕一	きのしたかぶき かんじんちよう 木ノ下歌舞伎「勸進帳」の成果	主宰する『木ノ下歌舞伎』の10周年の興行で、歌舞伎十八番「勸進帳」の再創作に取り組んだ。現代の視点や感覚で作品を噛み砕きつつ解きほぐし、様々な「境界」を越える物語として、古典の名作に新たな光を当てた。また、監修・補綴としても手腕と感性を発揮。源義経を妖しい魅力で凜然と演じた高山のえみなど役役の妙も光った。

平成28年度(第71回)文化庁芸術祭賞受賞一覧(参加公演)

音楽部門6件

区分	受賞者(団体)名	受賞対象	受賞理由
大賞	(関東参加公演の部) しばたみなお 柴田南雄生誕100年・没後20 年記念演奏会実行委員会	柴田南雄生誕100年・没後20年記念演奏会の成 果	柴田南雄生誕100年・没後20年記念演奏会は、山田和樹が指揮を執り、日本フィルハーモニー交響楽団、東京混声合唱団、武蔵野音楽大学合唱団らとともに目覚ましい成果をあげた。交響曲「ゆく河の流れは絶えずして」では、柴田の多様な作風とシアターピースの性格が明確に示され、「追分節考」では、サントリーホール <small>おひやけがしやう</small> の音響を活かした類稀なる音楽空間が生み出された。
	(関西参加公演の部) 該当なし	—	—
優秀賞	(関東参加公演の部) きねや ひろみつ 杵屋 裕光	第二回 <small>ながうた</small> 長唄裕光の会の成果	第一回から26年たった今年、満を持して開催された第二回のリサイタルは、江戸期の長唄の古典作品から明治期の名作、昭和40年代の器楽作品まで変化に富み、かつ三味線の技巧的な作品でまとめたものであった。「幕三 <small>まくさん</small> 重 <small>じゆう</small> 」という幕前で立ったままの独奏も圧巻で、長唄三味線の醍醐味を思う存分に示した真摯な演奏が高く評価された。
	(関西参加公演の部) さかぐち ゆうざん 阪口 夕山	第14回阪口夕山 尺八リサイタル～ <small>もろいまこと</small> 諸井誠を奏する ～の成果	現代音楽にいち早く尺八を取り入れ、尺八の無限の可能性を追求した諸井誠作品のみでプログラムを構成。各時代を代表する難度の高い3曲 <small>ほんきよく</small> で本曲の魅力と現代性を伝えた。特に25年ぶりの再演となった「竹林奇譚抄 <small>ちくりんきたんしやう</small> 」では、7種類の尺八と飛騨 <small>なるこ</small> の鳴子を駆使した総合的パフォーマンスで成果をあげた。果敢な挑戦と企画力を高く評価したい。
	(関西参加公演の部) はやし ゆたか 林 裕	林裕チェロリサイタル チェリスト＝コンポーザー・コレク ションの成果	セルヴェとカサドという、ふだんあまり聴かれることのない作曲家の作品を弾いたが、これはチェリストだった作曲家の作品を演奏するシリーズのひとつ。作品の背後にあるものへの探求不足がかいまみられたのが残念ではあったが、その意欲的プログラムと、なにより抜群の安定感をもったチェロの演奏が高く評価された。
新人賞	(関東参加公演の部) ひよし しょうご 日吉 章吾	第一回日吉章吾箏曲演奏会の成果	古典らしい深い表現と技巧のなかに、瑞々しさを感じさせる演奏であった。三絃の地との変化に富む応酬に面白さを発揮した「二重砧 <small>にじゅうぎめた</small> 」、繊細な表現と立体的な組み立てに輝きがあった独奏の「手事 <small>てごと</small> 」、箏の美しい音色と艶のある声を披露し、共演者との息のあった合奏で難曲に挑んだ「八重衣 <small>やえごろも</small> 」、どの曲においても、古典に向き合う真摯な姿勢が今後の活躍への期待を抱かせた。
	(関西参加公演の部) まつばら とも 松原 友	松原友テノールリサイタルの成果	松原友は、これまで歌曲だけでなく、多方面に活躍の場を拡げてきた。その成果が今回の演奏に結実したと言える。いたずらに大げさな表現に溺れることなく、作品の持つ青春の喜び、悩み、憧れ、幻想といった様々な感情を低音域の甘い声から高音にかけての緊張した表現に至るまで、的確なドイツ語で見事に歌い切った。

平成28年度(第71回)文化庁芸術祭賞受賞一覧(参加公演)

舞踊部門6件

区分	受賞者(団体)名	受賞対象	受賞理由
大賞	(関東参加公演の部) 該当なし	—	—
	(関西参加公演の部) 該当なし	—	—
優秀賞	(関東参加公演の部) ごとう さちこ 後藤 早知子	スライス・オブ・ライフの成果	リヒャルト・シュトラウスの「四つの最後の歌」をモチーフに、移ろいゆく人生の四季を、映像やナレーションを交えて鮮やかに謳い上げた本作は、後藤早知子の舞踊への思いに溢れた構成・演出・振付の手腕が光った。主演の酒井はなの確かな表現力を得て、さらなる魅力を深め、しみじみと観る者の心に訴えかけて秀逸であった。
	(関東参加公演の部) はなやぎ そのきすけ 花柳 園喜輔	拓の会別会「園喜輔創る躍る 変化舞踊の魅力」の成果	日本舞踊の基本ともいえる歌舞伎の変化舞踊はその含む多様性のために、舞踊家の手がけることの少ない分野だが、よく意欲的に取り組んだ。七変化舞踊の全ての役を一人で演じ分ける意欲と、その演じるところの各演目の完成度が高く評価された。今回新たに復曲に挑んだ作品にも、園喜輔の努力と才能、また熱意が十分に感じられるものであった。
	(関西参加公演の部) じぬしかおる 地主薫バレエ団	2016年 地主薫バレエ団公演「人魚姫」 プロローグ付き 全3幕の成果	童話「人魚姫」を、地主薫が音楽の構成から手掛けて振り付けし、独自の全幕バレエに仕上げた。人魚姫役 <small>おくむらゆい</small> の奥村唯の素直で清らかな踊りを筆頭に、実力派ダンサーたちが適材適所で観客を引き込み、分かりやすく子供も大人も楽しめる舞台。コミカルな部分も品良く、全体に優しい視点が溢れていたことに好感が持てた。
	(関西参加公演の部) わかやぎ ぎんさい 若柳 吟采	若柳吟采リサイタルの成果	若柳吟采は初めてのリサイタルにおいて、清元の大曲 <small>ほくしゅう</small> 「北州」と、同じく清元の直派若柳流作舞 <small>じきはわかやぎりゅうさくぶ</small> 「野路の月」を選び、しっかりした基本に裏打ちされた優美な踊りを披露、品格と曲趣にふさわしい情緒を描き出した。とりわけ、江戸・吉原の四季を描いた「北州」では、能がかり <small>もうちょう</small> の荘重な出だしから、遊女や客などさまざまな人物や風情を踊り分け、難曲を端正に踊りこなした。
新人賞	(関東参加公演の部) えすぽんたねあ よん Espontánea IV ~フラメンコ、自然発生的な~の成果 おおぬま ゆき 大沼 由紀	スペイン・ヘレス地方のギターや歌の名手の音楽に感応して体からわき上がる自然な踊りを見せた。派手な演出はないものの、伝統的な様式を守り、独自の繊細な動き、端正なポーズを紡いで悲しみ、怒り、喜びと深い感情も掘り下げる。圧倒的な踊りの力を発揮しながらも、表現は瑞々しく今後の成長も期待させた。	
	(関西参加公演の部) きたまり きたまり	きたまり <small>きききききき</small> ・KIKIKIKIKIKI 新作公演「夜の歌」Aプログラム の成果	きたまりは古今東西の様々なダンスの方法論を着実に身につけた上で、それらを自らの作品世界として総合的に提出してきた。今回の「夜の歌」は、その一つの到達であると共に、作品の完成度と即興のあり方を問う意欲的な作品であった。マーラーの交響曲で踊るといふ本シリーズの継続を含め、今後の展開に大いに期待したい。

平成28年度(第71回)文化庁芸術祭賞受賞一覧(参加公演)

大衆芸能部門6件

区 分	受賞者(団体)名	受賞対象	受賞理由
大 賞	(関東参加公演の部) 該当なし	—	—
	(関西参加公演の部) かつら ぶんのおすけ 桂 文之助	桂文之助独演会の成果	登場人物を愛らしく描いて定評のある文之助の、筋運びの軽快さと構成の見事さが光った。「口入屋」では店の仕組みなど丁寧に描き終盤の爆笑劇に深みをもたせて観客を魅了。「たちぎれ線香」では大店の若旦那、番頭らのほか、端役ながらも重要な役割をもつ多彩な人間像もきちんと演じ、落語に珍しい純愛物語を一気に語り聞かせた技が高く評価された。
優秀賞	(関東参加公演の部) くまざわ なんすい 熊澤 南水	南水ひとり語りの成果	第一部、第二部ともに50分近い朗読だったが、空でこなす力量。テキストの世界観をあますところなく表現するために、ほどよい演出を加えつつも、あくまでも主軸は自身の朗読という清々しい姿勢が聞き取れた。明瞭な発音、言葉への丁寧なアクセスを積み重ね、それをひとつの世界に昇華させた技量は、長年、朗読に真正面から取り組んで来たひとつの到達点であると評価する。
	(関東参加公演の部) ここんてい きくのじょう 古今亭 菊之丞	すずもとよいちかい 鈴木余一会 第十五回 古今亭菊之丞 独演会の成果	得意ネタ三席をバランスよく、誰もが楽しめる独演会に見事にまとめた。「親子酒」の親子の酔いっぷりや、「湯屋番」ののんきな若旦那は、大げさにデフォルメすることなく、的確に表現。評価の高い口調、テンポにさらなる冴えが加わり、心地よさにもつながった。芝居囃しの「淀五郎」は、淀五郎、團蔵、仲蔵の思いを力むことなく淡々と描いた。
	(関西参加公演の部) らっきー こうじ ラッキー幸治	らっきー幸治芸歴七十周年記念公演豊来家一門会の成果	関西における曲芸の単独公演は、これまで希有であった。それだけに、アピール力満点で注目度が高かった。この公演で、自ら育て上げた一門の弟子とともに出演した幸治は、幼少期より鍛え上げた“太神楽”の芸を、圧倒的な存在感で演じた。6歳で入門し、76歳の現在まで、70年に及ぶ曲芸生活の神髄を全力で披露した。
新人賞	(関東参加公演の部) やなぎや とうざぶろう 柳家 東三樓	柳家東三樓の会 秋の成果	「試し酒」「目黒の秋刀魚」「幾代餅」の三席を好演し、客席を大いに楽しませた。おらかな語り口に似ず、構成は緻密であり、計算が行き届いていた。囃しの背景や歴史的由来等についてもよく調べており、しかもそれが、単なる知識の披露ではなく質の良いエンターテインメントを提供することにつながっていたところが素晴らしい。
	(関西参加公演の部) しょうふくてい てっぺい 笑福亭 鉄瓶	第七回笑福亭鉄瓶らくご会の成果	「体力勝負の三席を選んだ」という言葉通り、最初の「いらち俵」から全身をフルに使って力演、「天災」では短気で怒りっぽい単純な男をリアルに体現、また、トリネタ「宿屋仇」は、多少の粗さはあったものの、間が良く、若者の騒動と侍との対比が鮮やか。途中で挟む今どきの言葉も自然で、独自の落語世界に進歩の跡が見えた。

平成28年度(第71回)文化庁芸術祭賞受賞一覧(参加作品)

テレビ・ドラマ部門4件

区 分	受賞者(団体)名	受賞対象	受賞理由
大 賞	にっぽんほうそうきょうかい あつくすおん 日本放送協会、AXON	プレミアムドラマ「奇跡の人」	ヘレン・ケラーとサリバン先生の有名な物語をモチーフに、しかしそれとは似て非なる現代版「奇跡の人」を見事に作り上げた。岡田 ^{おかだ} 恵和の大胆だが繊細な脚本、狩山 ^{かりやま} 俊輔の遊び心たっぷりの演出、主演の峯田 ^{みねたか} 和伸や脇を固める俳優陣の好演が光り、娯楽性とメッセージ性を兼ね備えた傑作ドラマに仕上がった。盲ろうの少女が世界を発見していく奇跡は、私たちがこの世界を、人生を再発見していく奇跡でもある。
優秀賞	株式会社テレビ朝日	山田太一ドラマスペシャル 五年目のひとり	震災から五年以上を経て復興は進んだかのようにいて、人びとの心の傷はそう簡単に癒されるものではない。本作はドラマでなければ描けない、被災した主人公の複雑な思いに果敢に踏み込む。そんな重い主題ながら、従来の山田太一ドラマ同様に、ユニークで興味津々の切り口から入って、サスペンスフルに視聴者を惹きつけながら、やがて大いなる共感へと導く作劇には、あいかわらずの見事さがある。
	日本放送協会大阪放送局	木曜時代劇「ちかえもん」	実際の心中事件を元にした人形浄瑠璃の傑作「曾根 ^{そね} 崎 ^{さき} 心中」を題材に、作者近松門左衛門を主人公に据えた快作。本歌取りとでも言うべきか、多重構造のストーリーが出色。時代考証がされた竹本座も魅せる。全編に渡り人形浄瑠璃と大阪に対する愛が溢れており、虚実の間を縦横無尽に駆け抜ける疾走感が見事だ。
	株式会社WOWOW	ドラマW この街の命に	飼えなくなったペットは合法的に殺される。目を背けがちな現代の矛盾に向き合い、それを担う動物愛護センター職員たちの仕事を淡々と描写。やるせない雰囲気の中、蝕まれていく彼らの内面をえぐりだし、起伏ある物語にすることで、ノンフィクションを超えるリアリティーを生み出した。社会派ドラマの秀作。

平成28年度(第71回)文化庁芸術祭賞受賞一覧(参加作品)

テレビ・ドキュメンタリー部門4件

区 分	受賞者(団体)名	受賞対象	受賞理由
大 賞	とうかい 東海テレビ放送株式会社	人生フルーツ ある建築家と雑木林のものがたり	愛知県春日井市にある高蔵寺ニュータウン。戦後、数々の団地を設計した建築家、津端修一氏は、当初、雑木林を残す理想の街として設計したが諸々の事情から大幅に変更。津端氏と、その妻はニュータウンに根を下ろし、作物を育てながら自ら理想の生活を実践する。人間にとって何が大事かを、老夫婦の静かな暮らしから見つめた秀作。
優秀賞	さんようほうそう 山陽放送株式会社	島の命を見つめて ～ ^{てしま} 豊島の看護師・うたさん～	瀬戸内海の離島、香川県豊島で活動をするたった一人の看護師・ ^{おざわうたこ} 小澤詠子さん(うたさん)の孤軍奮闘の日々を通して、超高齢化と過疎化にあえぐ島での、僻地医療の困難さを浮き彫りにしている。島では満足な医療が受けられないことを承知で、島内で死ぬことの覚悟を決めたお年寄りたちの「死に合う」という語が痛々しい。それを判りつつ、お年寄りたちにかけるうたさんの言葉のやさしさが、今日の日本の僻地医療の限界を示している。
	日本放送協会大阪放送局	NHKスペシャル ある文民警察官の死～カンボジアPKO 23年目の告白～	23年前、カンボジアで日本人警察官がPKO活動中に武装ゲリラに襲撃され一人が亡くなった事件を追う。停戦合意がなされているはずのPKOの現場でなぜ戦闘は起きたのか。この23年、語られることのなかった隊員たちの証言や手記と50時間を超える未公開映像で明らかにした。国際貢献とは何かを考えさせられる作品だ。
	日本放送協会	NHKスペシャル 被曝の森 ～原発事故5年目の記録～	福島第一原発事故により大量の放射性物質が放出され、周辺地域は立入りが制限されている。無人の町で今、何が起きているのか、原発事故を忘れかけている5年目の貴重な現場からの報告。イノシシが町を占拠し、野生動物が住宅街で大繁殖している。目を覆うばかりの現実から目をそらさず、国内外の研究者たちの調査に密着し、最新の技術を駆使して丹念に描かれた労作。時間をかけて現実を直視し続ける貴重な記録だ。

平成28年度(第71回)文化庁芸術祭賞受賞一覧(参加作品)

ラジオ部門4件

区 分	受賞者(団体)名	受賞対象	受賞理由
大 賞	(ドキュメンタリーの部) 日本放送協会広島放送局	広島原爆の日ラジオ特集「あの日、母は少女だった ～被爆の記憶をたどる母と息子の対話～」	数十年の時を経て、母が息子に被爆体験を語り始める。本人の声と俳優の朗読がうまく組み合わせられ、母の記憶がリアリティを持って迫ってきた。戦争が人々に与える肉体的、精神的苦痛の途方もない大きさを感じさせる。俳優の演技も秀逸。一人の人間の体験を、時代も地域も超える普遍的なメッセージに変換させた力作である。
優秀賞	(ドラマの部) 日本放送協会大阪放送局	FMシアター「ふたりの娘 ^{むすめ} 」	母親の遺志を実行するために、一人の娘が母親が生前付き合っていた男を訪ねる。が、そこには家庭があり、もう一人の娘が居た、という暗い背景の設定ではあるが、この二人の娘の関西弁と標準語の会話が抜群に面白く、大人(親)の恋愛を受け止めて行く過程が心に染みる。脚本家の才能を感じさせる作品である。
	(ドラマの部) 日本放送協会名古屋放送局	FMシアター「ほかの誰もいないアヤコ」	損な役回りばかり押しつけられながらも自己主張せず、いい人を演じ続けてきた主人公の心の動きをイモトアヤコが感情豊かに好演。ほろ苦さと心地よさを感じた。また戦争体験を持つ死神の使いの目を通して、今という時代にさりげなく警鐘を鳴らす構成も秀逸で、ありがちな青春ドラマとは一線を画した。
	(ドキュメンタリーの部) 株式会社エフエム東京 ^{とうきょう}	『ミュージックドキュメント 井上陽水×ロバート キャンベル「言の葉の海に漕ぎ出して」』	井上陽水の歌の魅力の一つである、どことなくとらえどころのない歌詞に、ロバート・キャンベルが英訳という手法で切り込む面白さが光っている。それでもあいまいさが残り、陽水の言葉の持つ深みがさらに引き出される。陽水の曲もふんだんにかかり、音楽と文学が融合した知的エンターテインメントに仕上がった。

平成28年度(第71回)文化庁芸術祭賞受賞一覧(参加作品)

レコード部門3件

区 分	受賞者(団体)名	受賞対象	受賞理由
大 賞	はなもよへんしゅうしつ 花もよ編集室	たけちてつじ 武智鉄二「古典は消えて行く、されど・・・」	演出家、評論家として活躍した武智鉄二が、日本の伝統芸能の精髓として紹介した演奏や舞台を、武智自身が収集した膨大なSPレコードを中心にデジタル化し、著作とあわせCD20枚にまとめている。それぞれが周到に整えられた非常に貴重な芸能記録であり、武智の伝統芸能に対する深く鋭い視点もうかがわせる。
優秀賞	株式会社キングインターナショナル	N響世界一周演奏旅行1960	68日間に12カ国24都市を巡った伝説の演奏旅行の初CD化。30回の公演の1/4程度の抜粋ライブ録音がCD8枚に日程順に収められており、演奏旅行に同行しているかのような臨場感を味わえる。N響および豪華な独奏陣の充実した演奏が半世紀を経て蘇る。解説書も資料価値が高い。記録性、芸術性の両面で高く評価された。
	株式会社フォンテック	かいせつしゅう 甲斐説宗の音楽	独特のスティックで前衛的な作風を評価されながらも、あまりにも早い死によって忘れられかけている作曲家の代表作を、新旧の演奏家たちが共感を込めて演奏。執拗な反復による乾ききった、しかし強靱な表出力と、内在する音楽の燃焼度の強い核心を伝える名演が続き、「現代日本の作曲家シリーズ」のなかでも特異な存在感を持つ。